

平成29年度学校評価報告書

平成30年3月9日

1 本年度の重点目標

- (1) 学習指導の工夫改善により生徒の意欲を引き出し、確かな学力の向上を図る。
 (2) 節度ある学校生活を通じて心身の健康を図る。
 (3) 主体的に科目選択ができるよう進路意識の啓発に努め、目指す進路の実現を図る。
 (4) いじめのない仲間づくりに努め、命を大切にする心の育成を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・「主体的・対話的で深い学び」の授業実践に向けた研修会により意識改革が図られた。 ・主体的な学習態度を育むための取組を継続していく。 ・公開授業、授業評価等の活用が授業改善には効果的である。 ・高大接続改革を踏まえ、より充実した「産業社会と人間」、「課題研究」の取組が必要である。	・総合学科9年目を終え、総合学科の特色を活かした取組が今まで以上に生徒の学力向上に結びついている。 ・先生方の熱心な取組に感謝している。 ・時間外勤務の縮減や働き方改革の取組に期待している。
改善方策	総合学科の利点を活かした「旭川南高校だからこそできる教育」を実践する。 1 授業、学校行事、部活動を最大限活かした主体的・対話的な学びの推進 2 探求心や表現力を育成するための「課題研究」の工夫改善 3 少人数の習熟度別学習やTT授業の充実	
生徒指導	・ネットトラブル防止に向け、生徒が主体的に取り組む活動を継続していく。 ・交通事故防止、交通マナー順守の意識啓発を継続していく。 ・いじめ防止基本方針の検証が必要である。 ・特別支援委員会が適切に機能していたことで、教育相談体制が充実してきた。	・いじめの対応については丁寧に対応していただいている。 ・交通安全指導については継続した指導をお願いしたい。
改善方策	1 生徒が主体となったネットトラブル根絶の取組の推進 2 社会につなげる礼儀・マナー・規範意識の定着 3 地域資源を活用しながら、自他の命を大切にする心の育成	
進路指導	・系統的なキャリア教育においては、継続した課題と捉えられる。 ・生徒や保護者に対する情報提供は、改善がみられる。 ・生徒一人一人に主体的に取り組ませる指導の充実が図られてきている。	・生徒の希望する様々な進路に対し、より丁寧に対応してもらっている。 ・先生方が生徒と真剣に向き合い指導いただいていることに感謝している。
改善方策	1 進路情報の公開や保護者への情報提供による教育活動の透明性の強化 2 講習、模試等の目的や効果の検証に基づく年次・教科との連携の推進 3 キャリア意識を高めるための主体的な科目選択の推進	
公表方法	ウェブページ（学校HP）、学校だより、PTA入会式、PTA総会、学校評議員会で公表	